

庄内緑地公園のガマ池

現在、たくさんのガマの穂が見られます。その名もガマ池。
市内で、こうした光景が見られるのも公園として環境保全されているおかげでしょう。

(7月9日庄内緑地公園)



穂の上が雄花群、穂が雌花群です。雄花から飛散する前に
集められた花粉は生薬「蒲黄」と呼ばれ、止血等に使われま
す。古事記の記述を正確に読むと、因幡の白うさぎは、「蒲の
穂綿にくるまれて」ではなく、「蒲黄を敷いて体につけて」傷を
癒したのだそうです。大国主命は医薬の神様でもありました。